



2024年2月1日

各位

会社名 株式会社ぐるなび
代表者名 代表取締役社長 杉原 章郎
(コード番号：2440 東証プライム)
問合せ先 専務執行役員 山田 晃久
(TEL：03-6744-6463)

2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日に公表した2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業損失	経常損失	親会社株主に 帰属する 当期純損失	1株当たり 当期純損失
前回発表予想（A）	百万円 13,700	百万円 △700	百万円 △750	百万円 △770	円 銭 △16.55
今回発表予想（B）	13,000	△500	△450	△570	△12.67
差異（B-A）	△700	200	300	200	
差異率（%）	△5.1	-	-	-	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	12,296	△1,724	△1,664	△2,286	△44.25

2. 修正の理由

売上高については、中核事業である飲食店支援サービスが当第3四半期累計期間において想定を上回る進捗をみせており、通期計画に対しても引き続き順調に推移する見込みである一方、ふるさと納税サービスの売上が想定を下回っていること、プロモーション事業において外部チャネルを活用した売上獲得施策を見直すこと等から、計画を下回る見通しです。他方費用については、当第3四半期において採用の厳格化による人件費及び人員関連費用の低減やコスト効率に留意した広告宣伝・販促費の運用、業務委託の効果的な活用のほか、その他経費抑制効果等により想定より縮減したことから、各損失は前回発表予想より縮小する見通しです。

なお当第3四半期累計期間の営業利益は22百万円となりましたが、第4四半期において、期初時点では低水準に設定していた賞与を営業損益の改善状況に応じて見直すとの当期方針に基づき増額する予定のほか、「ぐるなび FineOrder」への先行投資の拡大、テンポスバスターズ出店費用の計上等を見込んでおり、これらを踏まえ各損失の見通しを上記1.のとおり算出しております。

上記に記載した予想数値は、直近の動向や当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上